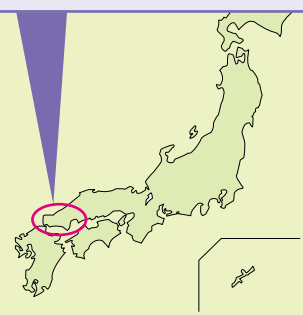




山口市阿東 で トマト を

一緒につくりませんか!?

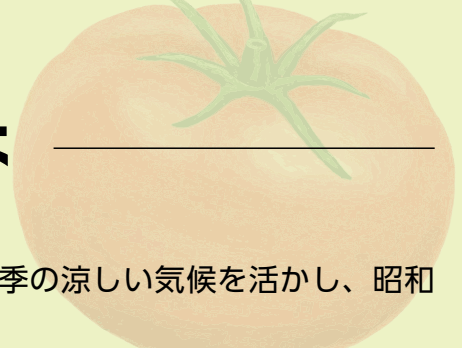
**新規就農者
随時募集中!!**



農業を新たに始める方を
山口市は **“パッケージ支援制度”** で応援します!!

令和8年4月

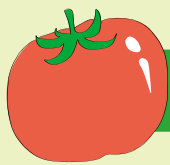
山口あぶトマトとは



山口県の北東部、標高300～500mに位置する阿東地区では、夏季の涼しい気候を活かし、昭和50年代からトマト栽培が開始されました。

その後、正式にトマト部会が設立、共同選果・共同販売が実施され、平成17年には、隣接する萩市むつみ地区と産地を統合し、「山口あぶトマト」のブランドとしての出荷が開始されました。

現在は、中国地方最大級の夏秋トマト産地として、部会員が一丸となって生産しており、山口県内と福岡県へ出荷をしています。また、県内のトマト産地で唯一選果場が整備されているため、生産者は栽培に専念し、安心してトマトを作ることができます。



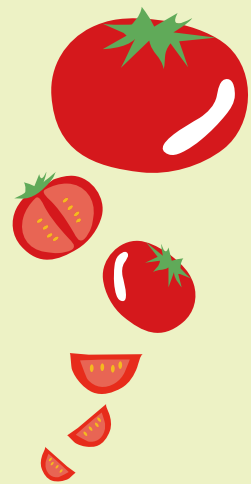
「山口市阿東」で就農する4つの強み

1 ブランド力を活かした安定経営が可能

「山口あぶトマト」のブランドを活かして、山口県内のほか、福岡県でも高単価で出荷されるため、安定した経営を行うことができます。

2 選果場が近くにあり、生産に集中できる

トマトの選果場が隣接する萩市むつみ地区にあり、サイズの選別や箱詰め等の出荷に関する作業を選果場に任せることができるため、夏から秋にかけての農繁期において、収穫作業などの生産の仕事に専念できる環境にあるのも魅力のひとつです。



山口あぶトマト選果場▼

3 1年間の研修期間で就農できる

山口あぶトマト部会阿東支部（農家さんのグループ）では、新規就農者を全面的にバックアップする体制を整えており、通常2年程度かかる農業研修の期間を1年で修了し、就農することが可能です。

4 関係機関によるサポート体制の充実

山口市、山口県（農林水産事務所）、JA等が連携し、就農前から就農後も技術面、生活面を全面的にサポートし、新規就農者が安心して生産・経営ができるようにバックアップしていきます。





トマト農家の仕事

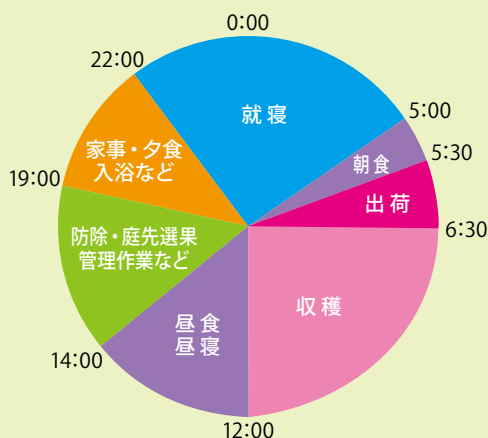
山口市阿東のトマト農家の仕事は、大型機械の操作や極端な力仕事は少ないですが、常にトマトと向き合いながらの細かな栽培管理が求められます。

7～8月は出荷量が一番多い時期であり、栽培管理作業も並行して行うため、夜明けとともに仕事に取りかかります。

11月半ばにすべての出荷が終了し、後片付けや翌年の栽培に向けた準備を行います。

冬の間は天候により除雪の必要な時もありますが、ハウス内作業は少ないため、旅行を楽しんだり、他の作物に挑戦したりするなど、自由な時間を多く持つことができます。

農繁期の一日程(例)



年間作業スケジュール

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作業	ハウス等施設整備		ほしゆ播種		ていしよく定植	かんすい灌水・誘引等管理作業					後片づけ	
		ほ場準備				収穫						



新規就農プラン

経営収支モデル(参考)

令和8年3月時点の試算

栽培面積：30a
労働力：2名
(新規就農後5年目を想定)

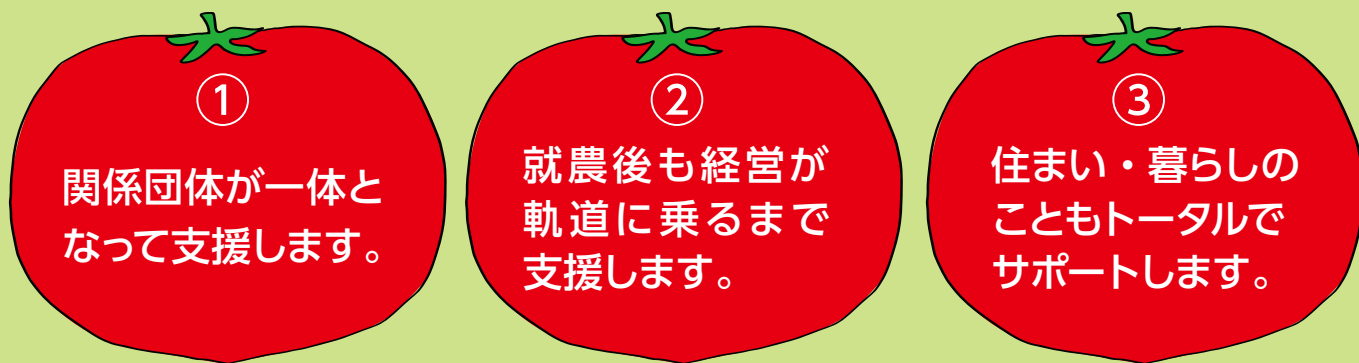
出荷量	33,000kg	
販売単価	350円/kg	
粗収益	11,550,000円	
経費	種苗代	200,000円
	肥料代	390,000円
	農薬代	300,000円
	諸材料費	440,000円
	賃貸料	1,400,000円
	減価償却費	160,000円
	出荷経費	4,500,000円
	その他経費	300,000円
所得	3,860,000円	

※ハウス導入に補助事業を活用した場合の事例です。補助事業は活用できない場合もあります。

必要となる施設・機械(例)

施設・機械名	使用用途
パイプハウス	育苗・栽培用ハウス
灌水ポンプ・液肥混入器	栽培中の灌水・追肥に使用
トラクター	耕うん
軽トラック	出荷、資材運搬等
管理機	畝立て
動力噴霧器	農薬等の散布
草刈機	ハウス周辺の草刈

< 山口市で就農するまでの支援ポイント >

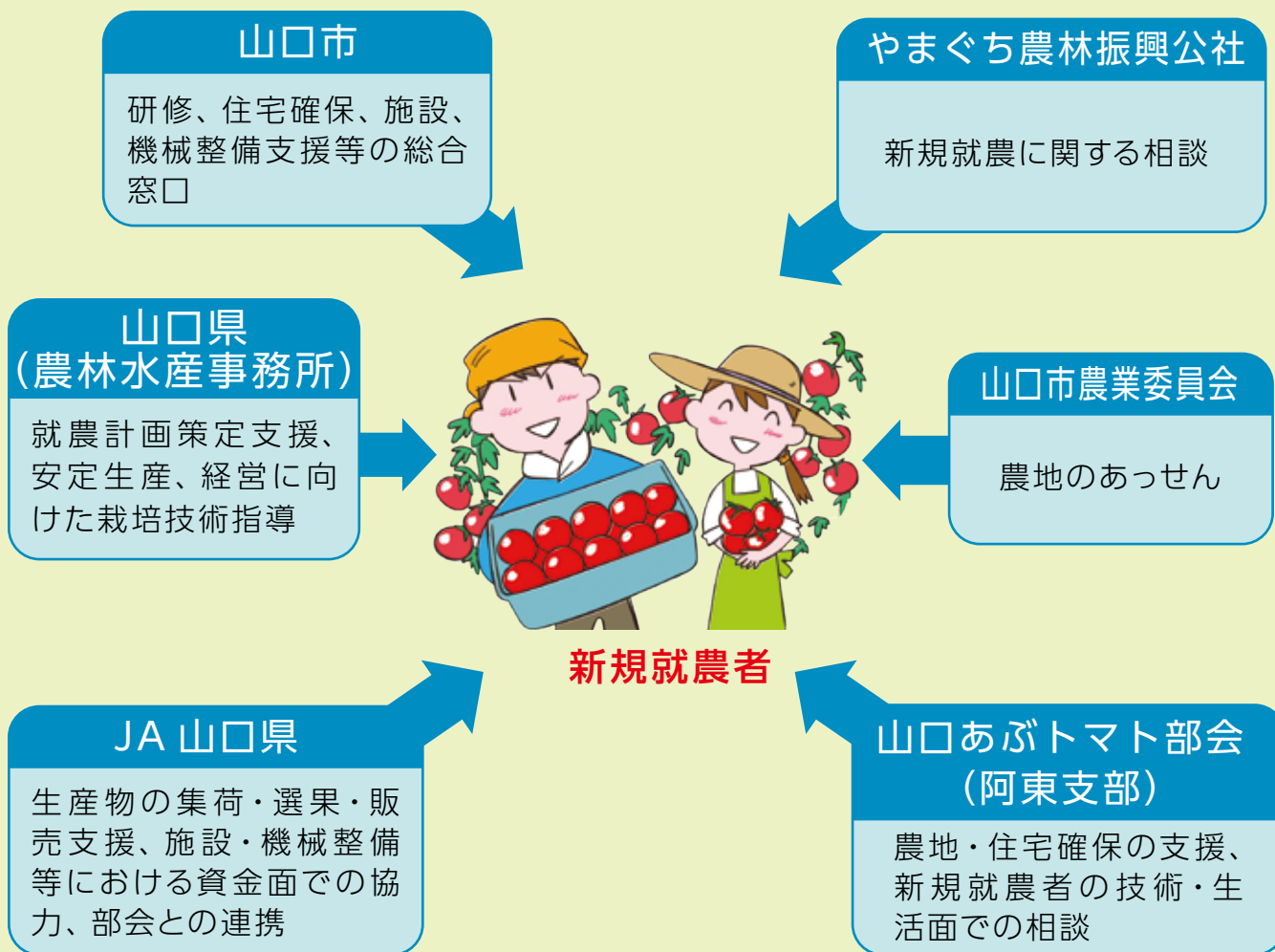


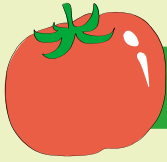
山口市では、栽培技術の習得・農地の確保・資金など新規就農者を取りまく多くの課題に対し、多方面から総合的にサポートする「パッケージ」で支援します。



新規就農者へのサポート体制

山口市では、トマト栽培を通じて夢を叶えたい新規就農者に対し、市、農林水産事務所、JA、部会等の関係機関が一丸となってサポートする体制を構築しており、分からないことや不安に思うことをすぐに相談できるよう新規就農者をバックアップしますので、未経験でも安心して就農することができます。





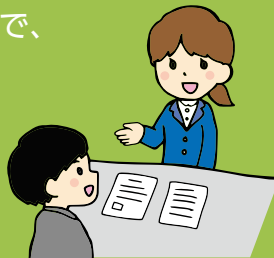
就農までのプロセス

山口市では、就農を希望される方が就農相談からスムーズに就農開始ができるよう、一貫した支援を行なっています。

1. 就農相談

まずは山口市農業振興課にお問い合わせください。

各地で新規就農相談会やオンラインによる相談も実施しておりますので、ぜひご参加ください。



2. 農業体験

「おためし農業体験」により、実際に現地にお越しいただき、山口市での就農や自分が農業に向いているのか等を試してみることができます。



3. 面談・研修先決定

就農する気持ちが固まったら、その熱意、自己資金等について関係機関による面談で確認をさせていただきます。



4. 住宅の確保

研修及び就農する際に必要な住宅の確保についても、関係機関が一体となってサポートします。



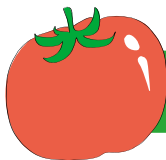
5. 実践研修（原則1年間）、農地の確保

先輩農家さんのもとで、基礎から農業をするための研修を受けていただき、栽培技術、経営のノウハウを学びます。併せて、就農後の作付計画、販売目標などを記載した「青年等就農計画」を作成し、農地の確保も行います。

6. 就農開始

いよいよ就農開始です。就農後も経営が安定するまでは関係機関が一体となってサポートします。





就農を目指す方への主な支援策

① 体験等に関する支援

・おためし農業体験（半日～3日間程度）

山口市阿東の生産者さんのほ場で農業体験をすることができます。

※山口県外に在住の方については交通費・宿泊費の補助制度があります。

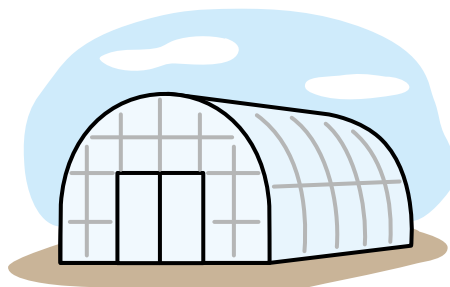


② 就農研修に関する支援

・就農準備資金

就農に向けて必要な技術等を習得するために研修を受ける方で、就農予定時の年齢が50歳未満の方に対し、研修期間**1年あたり165万円**を交付します。

（交付対象となる研修期間は最長2年間）



③ 農業経営開始後の支援

① 経営開始資金

次世代を担う農業者となることを目指し、独立・自営就農する方で、就農時の年齢が50歳未満の認定新規就農者に対し、経営開始後**1年あたり165万円**を交付します。（交付対象となる期間は最高3年間）

③ 経営発展支援事業

認定新規就農者が必要な機械、施設等の導入について事業費（上限1,000万円）、経営開始資金を活用する場合、上限500万円を補助します。

② 施設・機械器具の購入補助

就農3年以内の認定新規就農者に対し、就農に必要な小規模の施設・機械器具について、事業費の**2分の1以内（上限30万円）**を補助します。

※対象者と事業主体（JA又は農業公社等）とのリース契約を締結した施設・機械器具が対象となります。

④ 青年等就農資金

認定新規就農者が、施設機械等の取得・賃借、運転資金などに利用できる資金融資があります。（融資限度額：3700万円）

④ 住宅・移住に関する支援

・定住支援（家賃補助）

新規就農者で農業開始後、一定期間の家賃について、**2分の1以内（上限月額3万円）**を補助します。

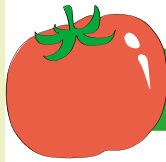
・空き家バンクの活用

山口市移住情報サイト「すむ住む山口」にて随時空き家に関する情報を掲載しています。

「すむ住む山口」



※上記の支援・補助制度等については給付要件があります。また、上記以外にも様々な支援があります。詳しくは農業振興課までお問い合わせください。



阿東で活躍されている山口あぶトマトの生産者さんをご紹介します

いちむらまさお 市村将大さん・えりこ 江莉子さん (令和5年就農)



阿東で就農した経緯

農業系大学を卒業した後、5年程度会社に勤務していましたが、妻の実家から比較的近いことや自治体や部会の支援体制も手厚く、頑張った分収入も増えやすい夏秋トマトに魅力を感じ、就農しました。夫婦2人で役割分担しながらがんばっています。

阿東で就農してよかったところ

研修で実践的な技術が習得できる他、先輩農家との相談もしやすく、ハウスを新設する際はたくさんの助力もいただき、おかげさまで農業やっていけています。地域内の人のつながりが濃く、生活面でも大いに助けられています。

農業をするうえで必要なことは

トマトは、初期投資にたくさんお金がかかり、樹の管理、収穫と体力気力が必要で、刻々と変わる環境変化に対応していく必要があります。そのため、数百万円単位での貯金と精神も含めた健康と決断して行動する能力が必要です。

はだのしゅん 波多野 駿さん (令和6年就農)



阿東で就農した経緯

元々阿東の農業法人で仕事をしており、その中で阿東の夏秋トマトに興味を持ち、行政機関や現地の農家さんとの相談を経て、慣れ親しんだ阿東での就農を決意しました。

阿東で就農してよかったところ

何よりなのは、相談、研修、就農までの行政機関と現地の先輩農家さんのサポート体制が整っている事です。就農するまでの流れや計画を立てやすい為、より明確な状態で準備する事が出来ます。研修中や就農後も、定期的な意見交換や、他の農家さんに気軽に相談が出来る環境なので、かなりのリスクを減らす事が出来ます。

農業をするうえで必要なことは

“やる気”です。当たり前的事だと思いますが、ずっと向上心を持ち続けるのは大変です。就農はあくまでスタートです。これからとても長い期間作物を栽培していく中で、毎回同じ環境になる事は無く、今までに無い天候、新しい病害虫、栽培方法、品種等どんどん環境は変わっていきます。常に勉強や挑戦をして適応していかなければなりません、上手くいかない事も大いにあります、ですがそれは何事も同じです。ただ農業は特に上手くいかなかった時に収入に直結します。それでも折れずに向上心を持ち続ける事が必要だと、私は思います。

新規就農を目指す方に一言

思い立ったが吉日です。気軽に市の担当課などに相談してみる事をおすすめします。これをご一読いただいた方と農業という同じ道を歩める日を心待ちにしております。

—— 山口市が求める新規就農者 ——

1

経営者としての自覚を持てる方

新規就農とは自ら起業して農業を始めることを言います。つまり、トマトを育てる仕事のほかに、経営者としての仕事もこなしていかなければならないということです。雇われる立場のように、毎月決まった収入が得られるわけではありません。新規就農は魅力的である反面、自らが経営者であるという自覚を持つことが不可欠となります。

2

夏の暑さに耐えられることができ、心身ともに健康である方

山口市阿東でのトマト生産は蒸し暑いハウス内での作業が多く、夏の繁忙期には長時間作業することとなるため、暑さに耐えられる十分な体力が必要です。また、時に風水害や冷害、病害虫の発生等、予期しない事態が起こりますので、粘り強い精神力も必要です。

3

就農するために必要な自己資金を準備できる方

研修中の期間は無給となることに加え、ハウスの建設や機械の購入のための初期投資がかかります。このため、トマトで農業を始める際には、様々な制度資金を活用したとしても、300万円程度の資金を準備しておく必要があります。

4

地域活動・生産者部会の活動に積極的に参加できる方

農業をするには周囲の協力が不可欠であり、先輩農家さんや地域の方との人間関係づくりが欠かせません。生産者の集まりに参加したり、地域行事に協力したりするなど、地域に溶け込む努力が必要となります。

—— 山口市阿東へのアクセス・周辺情報 ——

【阿東徳佐までの所要時間】

新幹線

東 京～新山口 約4時間20分
新大阪～新山口 約2時間
新山口～徳佐(電車) 約1時間20分



飛行機

羽 田～山口宇部 約1時間30分
山口宇部～新山口(バス) 35分
新山口～徳佐(電車) 約1時間20分



車

新山口駅～阿東徳佐
車で約70分



【生活環境(阿東地域全体)】

子育て・教育

保育園4園(うち2園休園中)、
小学校3校、中学校2校



医療

病院4か所(うち小児科2か所)



その他

スーパー、ドラッグストア、家電量販店、
コンビニが各1軒、ホームセンターが2軒あります。

お問い合わせ先

山口市農業振興課 農業振興担当

〒753-8650 山口県山口市亀山町2番1号

電話 083-934-2891 E-mail n-shinkou@city.yamaguchi.lg.jp